資料1-5

携帯電話用周波数の再割当てに係る
円滑な移行に関するタスクフォースの開催について

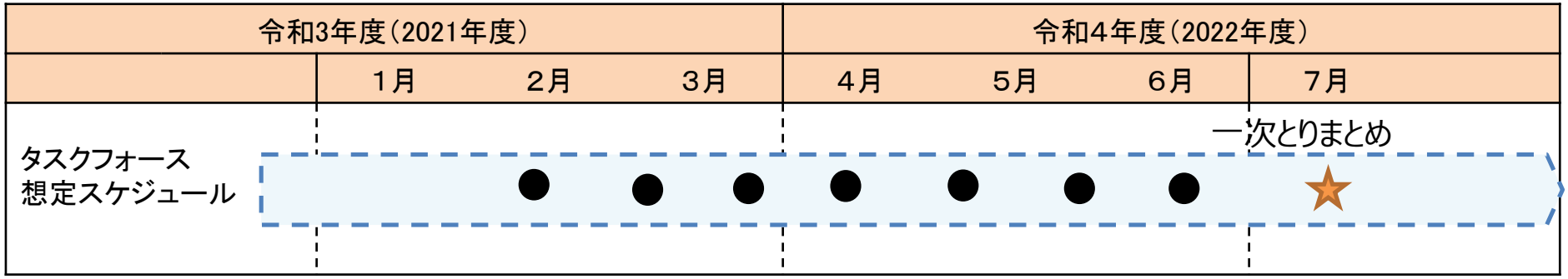
令和４年４月

携帯電話用周波数の再割当てに係る円滑な移行に関するタスクフォースでの検討

- 「デジタル変革時代の電波政策懇談会」において周波数の再割当てに係る円滑な移行に関して更なる検討の深掘りを行うことが必要とされた個別課題等について検討を行うため、同懇談会の「移動通信システム等制度ワーキンググループ」の下で、本年２月より「携帯電話用周波数の再割当てに係る円滑な移行に関するタスクフォース」を開催。
- 検討会は、技術、法律、会計等の関連分野の有識者から構成。携帯事業者がオブザーバーとして参加（議論にも加わる）。
- 具体的な検討を進めるにあたり、非開示情報も扱えるよう非公開にて事業者ヒアリング等を実施。適宜、「移動通信システム等制度ワーキンググループ」との合同会合を開催。
- これまで、TF会合３回、ワーキンググループとの合同会合１回を開催。本年夏頃を目途に一次取りまとめ予定。

【タスクフォース構成員】

（主任）	相田 仁	東京大学大学院 工学系研究科 教授	関口　博正	神奈川大学 経営学部 国際経営学科　教授
（主任代理）	三瓶　政一	大阪大学大学院工学研究科 教授	中島　美香	中央大学 国際情報学部 准教授
	栗田 昌裕	名古屋大学 法学部 教授	松村　武	NICTネットワーク研究所ワイヤレスシステム研究室長
	猿渡 俊介	大阪大学大学院情報科学研究科　准教授	山郷　琢也	弁護士（TMI総合法律事務所）



タスクフォースの主な検討事項

（1）移行期間の設定のあり方

●移行期間を設定するにあたっての考え方および考慮すべき事項、課題
　－ 課題としては、特に、基地局等の工事の対応、利用者関係の対応　等
●基地局等の工事の対応
　－必要な工事について（基地局等の改修）
　－工事リソースに関する課題
　－工事リソースの円滑な確保方策
●利用者関係の対応
　－端末やプランへの影響
　－利用者への周知

（2）移行費用と負担のあり方

●移行費用として考慮すべき事項の考え方
　－考慮すべき事項の考え方（基地局等の改修、償却費用、過去の移行費用の扱い等）
　－具体事例（いわゆるプラチナバンドでの基地局へのフィルタ挿入やレピータ交換）の必要性、対応規模
●移行費用を負担すべき者、負担する費用の範囲　等

（3）その他

●再編を前提とした設備の導入　等
　－将来にわたって実施される周波数の再編を見据えた、再割当ての際の移行コストの低減や移行期間の短縮を実現するための長期的な技術的課題　等